

令和2年 第1回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 令和2年1月22日(水)

開会 13時30分

閉会 14時05分

2 会 場 金沢市庁舎 2階 201会議室

3 出席委員(6名)

教 育 長 野 口 弘

教 育 委 員 田 邊 俊 治

〃 岡 能 久

〃 大 島 淳 光

〃 木 村 陽 子

〃 長 澤 裕 子

4 欠席委員(1名)

教 育 委 員 丸 山 章 子

| | | |
|-----|-----------------------|---------|
| 事務局 | 教育次長(兼)学校教育部長 | 高 村 政 博 |
| | 担当部長(兼)教育総務課長 | 加 藤 弘 行 |
| | 教育総務課課長補佐 | 松 田 潤一郎 |
| | 担当部長(兼)学校職員課長 | 羽 場 政 彦 |
| | 学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐 | 田 村 創 |
| | 担当部長(兼)学校指導課長 | 寺 井 義 春 |
| | 学校指導課担当課長(兼)課長補佐 | 青 山 雅 幸 |
| | 市立工業高校事務局長 | 新 出 光 昭 |
| | 生涯学習部長 | 中 坂 暢 江 |
| | 生涯学習課長 | 村 田 英 彦 |
| | (兼)長土堀青少年交流センター所長 | |
| | 図書館総務課長 | 池 田 光 穂 |
| | (兼)玉川図書館長 | |
| | (兼)近世史料館長、城北分館長 | |
| | 教育プラザ総括施設長 | 松 本 季 之 |
| | (兼)地域教育センター所長 | |
| | 文化財保護課長 | 飯 田 一 哉 |

5 案 件

議案第1号 金沢市指定文化財の指定について (文化財保護課)

非 議案第2号 金沢市図書館協議会委員の委嘱について (図書館総務課)

報告第1号 令和元年度「金沢市いじめアンケート」の調査結果について(学校指導課)

そ の 他

(1) 令和元年度金沢市立工業高等学校卒業予定者の進路状況について

(2) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者4名について協議し、傍聴を許可した。次に、議事録署名委員に大島委員を指名した。本日の議題について野口教育長が議案第2号を非公開にするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、議案第1号、報告第1号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、2月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に議案第2号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 2月の定例会議の日程：令和2年2月19日（水）13：30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 議案第1号 金沢市指定文化財の指定について（文化財保護課）

（説明の概要）令和2年1月17日開催の金沢市文化財保護審議会において、「奥村家（宗家）上屋敷跡土塀」「銅造菩薩立像」の2件について、金沢市指定文化財にふさわしいものと答申を受けた。

「奥村家（宗家）上屋敷跡土塀」は、石引町にある金沢医療センター敷地内に位置し、江戸時代には加賀八家・奥村家の下屋敷、上屋敷が置かれ、明治維新後、陸軍所轄地となり、金沢衛戍病院、金沢陸軍病院、そして戦後になって国立金沢病院と、現在に至る。奥村家（宗家）上屋敷跡土塀は、加賀八家上屋敷跡で現存する唯一の土塀であり、市内随一の規模を有し、その威容が往時の風格を今日に伝えている。また、近代以降の土地利用の変遷や金沢の近代都市構造の変遷と密接な関係を有し、近世のみならず近代金沢の都市の変容の一端、江戸、明治、大正、昭和と連綿と続く金沢の歴史と都市の変容の一端を物語る存在としても貴重である。

続いて「銅造菩薩立像」は、所蔵する暁町・西光寺の現住職によれば明治25年（1892年）、住職の祖母が富山県宮島村糠子島から嫁いだ際に持参したものと伝えられ、台座を含めた高さが30cmほどの緑青色をした無垢の小金銅仏であるが、後年に火災などにあつたためか、鑄肌は著しく荒れている。制作年代は、その姿態と特徴から7世紀後半と考えられ、鳥取県・大山寺の国重要文化財である銅造十一面観音立像と酷似していることが、富山県考古学会による「越中小金銅仏調査」により明らかにされている。このように西光寺所蔵の銅造菩薩立像は、後世の二次被熱による鑄肌の荒れはあるものの、現在までに市内で確認された最古の仏像であることや、金沢のみならず日本海沿岸地域における仏像文化の歴史を考察する上で極めて重要である。

以上の点から、これら2件は金沢市指定文化財として十分な価値を有するものである。

木村委員

指定するのは本当に良いことだと思うのですが、土塀などは随分傷みが激しく、こういったものはそのまま指定されるのでしょうか。

飯田文化財保護課長

傷みについては、所有者が金沢医療センターですので、所有者のご意思を基に、修繕する場合は金沢市が補助する形になっています。

○ 報告第1号 令和元年度「金沢市いじめアンケート」の調査結果について（学校指導課）

（説明の概要）議案書6ページと別添資料。この調査は、各学校におけるいじめの実態等を詳細に把握し、今後の未然防止や早期対応に活用するためのものであり、毎年10月に全児童生徒を対象に本市独自に実施している。

まず、いじめられたことがある児童生徒の割合は、昨年度と比較して小学校では減少、中学校

では同程度となっている。その様態は別添資料1ページにある問3の結果に示されているように、「冷やかし、からかい」「仲間はずれ、無視」「遊ぶふりをしてたたかれる」など、子供同士の何気ない関わりの中で見られるものが多い。この点については各学校も強く意識しており、より軽微な状況のうちからいじめとして認知し、組織的に対応している学校が多くなっている。今後も教職員がいじめに対する感度を高くし、積極的に関わるように示していく。同じく問3の「インターネットで悪口」については、中学校では減少しており、各学校での情報モラル教育が少しずつ定着していることも要因と捉えている。

問5、問6で危惧される点は、いじめられても誰にも相談しないと回答している児童生徒が、昨年度と比べてやや減少傾向にはあるものの、約2～3割程度いることである。自ら相談できない児童生徒も多いことから、教職員が目をかけ、声掛けすることに一層意を配するとともに、スクールカウンセラーと連携するなど、相談しやすい雰囲気、体制づくりがより必要と考える。

問7、問8で危惧される点は、「どうせ解決しない」と回答している児童生徒が小学校で約3割、中学校で5割と昨年度に比べてやや増加していること、相談後も「前と変わらない」と回答している児童生徒が3割以上いることである。この結果を重く受け止め、いじめは絶対に許されないという指導とともに、先生に相談すれば何とかしてくれるという信頼関係の構築をさらに進めていく。

問12や問13で危惧される点は、「なんとなく」や「むしゃくしゃしたから」、あるいは「みんながするから」という理由でいじめたり、「いじめられる人にも悪いところがある」と考えている児童生徒が、昨年度と比べて減少はしているが、依然として3割程度いることである。今後もさらに授業や教育活動の中で心の安定を保つ指導を大切にし、児童生徒の自己肯定感や自己有用感を高める指導を一層進め、一人一人にいじめという行為について深く考えさせ、心に響くよう道徳科における継続的な指導の充実を図る必要があると考える。

なお、このアンケート結果については校長会議や生徒指導担当が集まる会議で示し、指導の在り方について確認するほか、自校の結果と市の結果を比べながら各学校の実情に応じた指導の徹底を図っていく。

長澤委員

問13の(3)「いじめられたら、しかえしをすればよい」という問いに関して、「わからない」と答えた割合が小・中・高とだんだん上がっています。この数字を見てとてもショックを受けました。(4)もそうです。「いじめを見ても、人のことだから気にしない」も、学年が上がるにつれて「わからない」の割合がどんどん上がっています。(6)「いじめを見たら、やめるように言いたい」の「わからない」は、小学校よりも中・高の方が高い結果でした。平成30年度に比べて令和元年度は数字が下がっていて、一定の教育的な効果が出ていることは今のお話にあったとおもいますが、道徳科の授業の中でそういう指導をするとすると、高学年になるにしたがって授業時間の確保が難しくなっているのではないのでしょうか。この点が危惧されるのですが、中学生や高校生にするいじめ問題の指導について、どのように時間を確保されていますか。

寺井学校指導課長

まず、中学校においては道徳科の授業を中心に、いじめについて考えさせることをこれからも継続していきたいと思えます。高等学校についても、それぞれのホームルームの時間、あるいは特別にいじめについて考える時間なども特設しながら、それぞれが高校生という立場で、いずれ社会に出ていく立場として、自分自身の生き方を見つめ直す時間を適宜設けながら、いじめについて指導を継続しています。

長澤委員

高校においては、それぞれの学校で自主的に時間の確保をしていると伺ったので、高校についてもぜひきちんと指導を厚くしてほしいと思えます。

| | |
|-----------|---|
| 寺井学校指導課長 | これは小・中・高に共通していると思いますが、授業に加えて、児童生徒自身がいじめのことやこれからの学校生活について考える機会が特別活動などの時間で設けられると思いますので、そういう時間も十分に活用していきたいと考えています。 |
| 野口教育長 | 新出市工高事務局長、学校にお帰りになったらぜひ校長や先生方にも今のお話をお伝えいただければと思います。何かありましたら、どうぞ。 |
| 新出市工高事務局長 | 寺井学校指導課長からもお話があったように、高校の方でもいじめについて指導を徹底しています。それから、市立工業においては部活動でも、成績主義よりも人の心を重んじる指導方法に徹しており、その中でいじめについての指導も行っていると伺っております。 |
| 大島委員 | 問6「その後、誰に相談しましたか」の回答では、「学校の相談員」「いじめ相談電話」と回答した割合が非常に低く、これが高くなればいいのかといえばそうでもないのですが、これらの窓口の認知度についてお聞かせください。 |
| 寺井学校指導課長 | いじめや学校の相談については、毎年度当初に教育プラザで「こども相談ダイヤル」というカード形式のものを児童生徒全員に配布し、周知を図っています。その他に、県教委が実施している「24時間SOSダイヤル」など、児童生徒の相談を受ける窓口は数多くあります。これは年度当初、今のようなカード形式やパンフレット、リーフレットなどで広く周知しています。これらのダイヤルに相談が入って、どこの学校か、どこの市かなどの相談内容がある程度分かってくれば、生徒指導支援室などが具体的な対応を進めていくことになっています。 いずれにしても、どの窓口でも、どの先生でも、家族の方でも結構なので、悩みがあったり、いじめられてすごくつらい思いをしたりしている子供たちが少しでもどこかの窓口であったり、担当に相談を持ち掛けることができ、解決に向かうような体制づくりをこれからも継続していきたいと思っています。 |
| 木村委員 | 以前、学校訪問をしたときに、「この学校ではいじめがありますか」と言うのと、「はい、あります」と先生がはっきりおっしゃったのです。私たちが子供の頃は、相手をちょっとからかう程度のいじめだったと思うのですが、最近はいろいろな情報が入り、ますますエスカレートしています。やはり学校で子供たちに、授業でもいろいろなサークルなどでも何でもいいので、よほど指導していただかないといけないと思います。問4の「いじめられた時、どのような気持ちになりましたか」に対して「何も思わなかった」と回答する子がある程度いて、私はとても悲しいなと思ったので、これからもよろしく願います。 |
| 寺井学校指導課長 | いじめについては、まず子供たちに考えさせる指導を継続していくことはもちろんですが、いじめの様態は子供同士の本当に軽微なトラブルなどから、さらにエスカレートして深刻な状況になっていくケースが大変多くなっています。初期段階から、これはいじめではないかという目でまず教職員全体が情報を共有すること、それから一つ一つの案件に対して学校全体で組織的に対応していくことの2点が大事だと思います。他都市の状況を見ると、最初の情報が担任で止まっていたり、情報が学校全体で共有されなかったりしたために、案件が深刻になっていったケースも大変多く報道されていますので、学校全体での情報共有と組織的対応を繰り返し学校現場に指導していきたいと思っています。 |

| | |
|----------|--|
| 木村委員 | 学校ばかりでなく、家庭での指導も大事だなと思います。 |
| 野口教育長 | その点については、生涯学習の方も家庭教育推進の立場からご協力いただければと思います。 |
| 田邊委員 | 毎年10月にアンケートを実施されているということですが、どのように実施されているのですか。 |
| 寺井学校指導課長 | アンケート調査については全員が家に持ち帰るなどして、家族とも相談できる子はきちんと相談をしたうえで記入し、学校の方で集約するという形で継続して実施しています。主な問いについては、継続比較の視点もありますので、大きな変更はありません。 |
| 田邊委員 | 家に持ち帰って、家族と相談しながら回答して、学校で集約されるということですね。 |
| 寺井学校指導課長 | 学校での記入になると、本当の考えがなかなか出にくいので、いったん持ち帰って記入してもらった方がいいと考えています。 |
| 田邊委員 | 一人一人の子供にとっては、家族とじっくり相談したり、自分で答えたり、ケースはまちまちだと思いますが、どんなことが問われているのか、どんなことが課題になっているのか、いじめについての理解が深まるような集約の仕方になっていると思います。今後も丁寧に行っていただければと思います。 他方、悉皆調査だと思うのですが、不登校の子供たちなども答えられるとすれば、いじめが引き金になって学校に通えないとか、思い悩んでいるというケースも結構幅広く拾えて、数字の上でも反映されると思いますので、そのあたりもできるだけ勘案できるといいと思います。 |
| 寺井学校指導課長 | なかなか学校に登校できにくい状況にある児童生徒についても、家庭訪問などでアンケートをお渡ししてできるだけ回答していただき、調査に反映しています。その回答について学校内で対応できるものについては、より詳しく話を聞いて対応するように努めています。 |
| 田邊委員 | それから、集約していただいたものを拝見して、例えば問9に、いじめの状況を見たり聞いたりしたことがあるかという問いがあります。実際に見たという場合と伝聞した場合とではやはり現実感が違うと思いますので、問い方としては見たことがあるのかと聞いたことがあるのかを分けた方が、そういう場面に遭遇したという臨場感のようなものが探れるような気がするので、分けた方がいいと思いました。 それから、近年はスマホやSNSでの悪口、いたずらなどがありますので、そのあたりも幅広く問えば、どういう状況でいじめが発生しているのかとか、「見た」と回答した子供たちがそういう状況に実際遭遇してどういう反応をしたのかということもクロス調査で浮き彫りにできると思います。切り分けた上で、クロス調査でどんなリアクションをしたのかが読み取れるように作ったらどうかと思いました。 |
| 寺井学校指導課長 | 問9などの項目内容については、ご意見も踏まえながら精査したいと思っています。また、携帯電話等のアンケート結果もありますので、それらとの関連性も見つけられるような分析をこれからも進めていって、子供たちのいじめ防止、早期発見にできるだけこのアンケートを活用できるよう、さらに進めていきたいと思っています。 |

長澤委員 | 携帯電話のアンケートは、何年生からを対象に行っているのでしょうか。
寺井学校指導課長 | 小学校4年生以上の児童生徒を対象に実施しています。

○ その他（１） 令和元年度金沢市立工業高等学校卒業予定者の進路状況について

（説明の概要）議案書7ページ。今年度の卒業予定者は237人で、1月7日現在、就職希望者は146人（61.6%）、進学希望者は91人（38.4%）である。本校の就職・進学希望者の割合については、過去5年間を見ても就職が約6割、進学が約4割程度で推移している。なお、就職希望者146人のうち144人が内定しており、98.6%の内定率となっている。また、内定者のうち125人（86.8%）が地元、県内の企業や公務員などに内定している。主な就職先は、資料に記載のとおりである。一方、進学については、進学希望者91人のうち国公立や私立大学、専門学校などに87人（95.6%）の進学が決まっている。

今後も本校の教育の根幹である金沢型工業教育モデルの実践を通して、出口戦略であるキャリア教育のさらなる強化を図り、生徒や保護者が希望する進路に進めるよう、学校全体で取り組んでいきたい。

野口教育長 | 1月7日現在の数字ですが、今日の時点でも変更はありませんか。
新出市工高事務局
長 | 昨日の時点でも変更はありません。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名

教 育 委 員 _____ 署 名

(大島委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 議案第2号 金沢市図書館協議会委員の委嘱について（図書館総務課）

金沢市図書館協議会委員の委嘱について

金沢市図書館条例第10条第2項の規定により、下記のとおり金沢市図書館協議会委員を委嘱します。

1 委員の委嘱

| 氏名 | 所属団体・機関及び役職 | 備考 |
|-------|----------------|----|
| 岩見雅史 | 金沢大学附属図書館館長 | 再任 |
| 小竹淳夫 | 金沢市学校図書館協議会会長 | |
| 関戸正彦 | 金沢市公民館連合会会長 | |
| 谷内きみ枝 | 金沢市PTA協議会副会長 | |
| 有松美貴子 | 金沢市読書会連絡協議会会員 | 新任 |
| 浦愉加 | 金沢商工会議所女性会理事 | |
| 岡満雄 | 金沢こども読書研究会副理事長 | 再任 |
| 真鍋知子 | 金沢大学人間科学系教授 | |
| 三宅さをり | 公募委員 | 新任 |
| 安田慎一 | 公募委員 | 再任 |

2 任期

令和2年2月1日から令和4年1月31日まで（2年間）

3 理由

任期満了による委嘱

以上